

PAT-NO: JP02001322523A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001322523 A

TITLE: AIR BAG DEVICE FOR FRONT PASSENGER SEAT AND INSTALLING
STRUCTURE THEREFOR

PUBN-DATE: November 20, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KITAGAWA, MOTOYASU	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TAKATA CORP	N/A

APPL-NO: JP2000138913

APPL-DATE: May 11, 2000

INT-CL (IPC): B60R021/20, B60K037/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an air bag device for a front passenger seat arranged on the reverse side of an instrument panel and easily attachable to this instrument panel and an installing structure of this air bag for the front passenger seat.

SOLUTION: A container 2 is connected to the reverse side of the instrument panel 5 via a plate 6. The instrument panel 5 is provided with a wall-shaped part 7 extending along a car body front side one edge part of the container 2 and having an engaging part 8 engaged with a locking member 15 of the container 2. A connecting piece 10 is arranged in an edge part of the plate 6, and a fixing member 16 arranged on the other edge part other than the one edge part of the container 2 is fixed to this connecting piece 10. The container 2 can be easily removed from the instrument panel 5 by pulling out the locking member 15 from the engaging part 8 by releasing a fixation of the fixing member 16 to the connecting piece 10.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-322523

(P2001-322523A)

(43) 公開日 平成13年11月20日 (2001.11.20)

(51) IntCl. ⁷	識別記号	F I	テームト* (参考)
B 6 0 R 21/20		B 6 0 R 21/20	3 D 0 4 4
B 6 0 K 37/00		B 6 0 K 37/00	B 3 D 0 5 4
			J

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2000-138913(P2000-138913)

(22) 出願日 平成12年5月11日 (2000.5.11)

(71) 出願人 000108591

タカタ株式会社

東京都港区六本木1丁目4番30号

(72) 発明者 北川 元庸

東京都港区六本木1丁目4番30号 タカタ株式会社内

(74) 代理人 100086911

弁理士 重野 剛

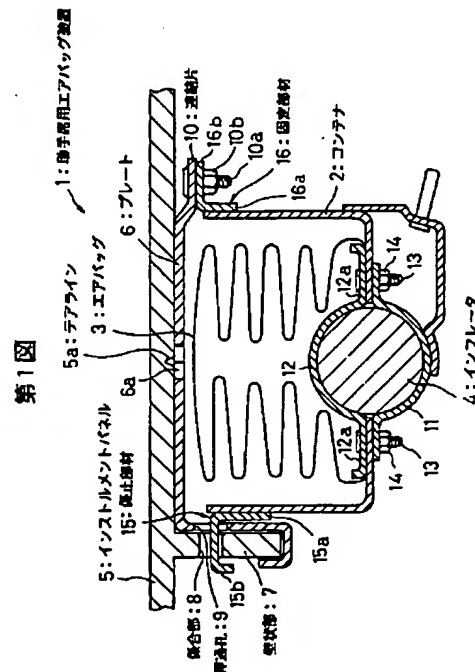
Fターム(参考) 3D044 BA07 BA12 BA14 BB01 BC13
BD043D054 AA03 AA14 BB09 BB10 BB11
BB13 BB16 DD13 FF17 FF20

(54) 【発明の名称】 助手席用エアバッグ装置及びその設置構造

(57) 【要約】

【課題】 インストルメントパネルの裏側に配置され、このインストルメントパネルへの着脱が容易な助手席用エアバッグ装置及びこの助手席用エアバッグ装置の設置構造を提供する。

【解決手段】 コンテナ2は、プレート6を介してインストルメントパネル5の裏側に連結されている。インストルメントパネル5には、コンテナ2の車体前方側の一辺部に沿って延在し且つコンテナ2の係止部材15が係合した係合部8を有する壁状部7が設けられている。プレート6の縁部には連結片10が設けられており、この連結片10にコンテナ2の該一辺部以外の他の辺部に設けられた固定部材16が固定されている。コンテナ2は、固定部材16の連結片10への固定を解除し、係止部材15を係合部8から抜き出すことにより、容易にインストルメントパネル5から取り外すことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも1対の対向辺を有したコンテナと、折り畳まれて該コンテナ内に収容されたエアバッグとを有する助手席用エアバッグ装置において、前記1対の対向辺のうちの一方にインストルメントパネルへの係止部が設けられ、他方にインストルメントパネルへの固定部が設けられていることを特徴とする助手席用エアバッグ装置。

【請求項2】 請求項1の助手席用エアバッグ装置をインストルメントパネルの裏側に取り付けてなる助手席用エアバッグ装置の設置構造。

【請求項3】 請求項2において、前記係止部が車体の前方側又は一方の側方側に配置されていることを特徴とする助手席用エアバッグ装置の設置構造。

【請求項4】 請求項2又は3において、前記係止部は突片又は開口であり、インストルメントパネルに開口又は突片よりなる係合部が設けられており、該突片が該開口に挿入されることにより該係止部が該係合部に係止されていることを特徴とする助手席用エアバッグ装置の設置構造。

【請求項5】 請求項2ないし4のいずれか1項において、前記助手席用エアバッグ装置のインストルメントパネルへの固定部は、インストルメントパネルに対し取り外し可能に固定されていることを特徴とする助手席用エアバッグ装置の設置構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、自動車の助手席乗員を保護するための助手席用エアバッグ装置及びこの助手席用エアバッグ装置をインストルメントパネルの裏側に設置するための助手席用エアバッグ装置の設置構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の助手席用エアバッグ装置は、エアバッグが折り畳まれて容器状のコンテナ（このような容器状のコンテナを「リテーナ」と称することもある。）内に収容され、このコンテナ（リテーナ）の前面開口をリッドで覆った構成となっている。このコンテナには、エアバッグを膨張させるためのインフレーター（ガス発生器）が設置されている。このリッドは、インストルメントパネルとは別個に設けられた蓋状部材とされるか、又はインストルメントパネルにテアラインによって区画された領域として設定されている。

【0003】以下に、インストルメントパネルの該領域を前記リッドとした場合の助手席用エアバッグ装置の一般的な構成について、第12図を参照して説明する。第12図は、従来例に係る助手席用エアバッグ装置及びこの助手席用エアバッグ装置のインストルメントパネルへの設置構造を示す断面図である。

【0004】第12図に示す助手席用エアバッグ装置1

00は、平面視形状が略長方形形状のコンテナ101と、このコンテナ101内に折り畳まれて配置されたエアバッグ102と、このコンテナ101の上面側の開口を覆っているインストルメントパネル103と、これらのコンテナ101の開口とインストルメントパネル103との間に介在し、且つコンテナ101とインストルメントパネル103とを連結したプレート104と、エアバッグ102を膨張させるガスを発生するための略円柱形のインフレーター105を備えている。

10 【0005】インストルメントパネル103の裏側にはテアライン（脆弱部）103aが設けられている。このテアライン103aによって、インストルメントパネル103の一部の領域がコンテナ102の該開口を覆うリッドとして区画されている。

【0006】プレート104は、インストルメントパネル103の該領域に沿ってインストルメントパネル103の裏側に配置されている。このプレート104は、このインストルメントパネル103と一体に設けられており、その周縁部には、コンテナ102をインストルメントパネル103に連結するための連結片104aが設けられている。

20 【0007】コンテナ101の底部には半円弧形のインフレーター収容部材106が配置されており、インフレーター105が該収容部材106に係合し、上方から押え部材107が該インフレーター105に被せられる。この押え部材107はコンテナ101の底面に重なるフランジ107aを有しており、このフランジ107aとコンテナ101の底面との間にエアバッグ102のガス導入口の縁部が挟持される。このフランジ107a及び収容部材106はボルトナット等によって一体にコンテナ101に固定される。

【0008】コンテナ101の該開口の周囲には前述した連結片104aに固定される固定部材108が設けられている。この固定部材108は、該連結片104aの下面に沿ってコンテナ101の外周面から延出した張出部108aを有し、この張出部108aには、ボルト或いはリベット等が挿通される挿通孔（図示略）が設けられている。

40 【0009】コンテナ101は、エアバッグ102が折り畳まれて収容された状態で、インストルメントパネル103の裏側から該リッドとしての領域に配置される。そして、コンテナ101の開口周縁部に設けられた固定部材108の張出部108aが連結片103aに重ね合わされ、これらの連結片103aと張出部108aとがボルト或いはリベット等で結合されることにより、コンテナ101とインストルメントパネル103とが連結されている。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような助手席用エアバッグ装置100にあっては、コンテ

ナ101は、その開口の周囲に設けられた固定部材108によって、該開口の全周にわたってしっかりと連結片104aに固定されており、インストルメントパネル103に対するコンテナ101の着脱は容易なものではない。特に、例えば、コンテナ101がインストルメントパネル103に連結されて助手席用エアバッグ装置100が構成され、このインストルメントパネル103が車体に設置された状態において、車体室内側から、この助手席用エアバッグ装置100のメンテナンス等の作業を行う場合には、インストルメントパネル103を車体から取り外すことなくコンテナ部分のみを取り外すことは非常に困難であり、とりわけ、インストルメントパネル103を車体から取り外すことなくこのコンテナ101の、車体のウィンドシールド側（車体前方側）におけるインストルメントパネル103aの連結を解除することは著しく難しい。

【0011】本発明は、このような問題点を解消し、コンテナのインストルメントパネルへの着脱が容易であり、インストルメントパネルが車体に設置された状態においてもコンテナ部分の着脱が可能な助手席用エアバッグ装置及びこの助手席用エアバッグ装置のインストルメントパネルへの設置構造を提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明の助手席用エアバッグ装置は、少なくとも1対の対向辺を有したコンテナと、折り畳まれて該コンテナ内に収容されたエアバッグとを有する助手席用エアバッグ装置において、前記1対の対向辺のうちの一方にインストルメントパネルへの係止部が設けられ、他方にインストルメントパネルへの固定部が設けられていることを特徴とするものである。

【0013】また、本発明の助手席用エアバッグ装置の設置構造は、前述の助手席用エアバッグ装置をインストルメントパネルの裏側に取り付けてなるものである。

【0014】この助手席用エアバッグ装置の設置構造においては、係止部が車体の前方側又は一方の側方側に配置されていることが好ましく、この係止部は突片又は開口であり、インストルメントパネルに開口又は突片よりなる係合部が設けられており、該突片が該開口に挿入されることにより該係止部が該係合部に係止されるように構成することができる。そして、この助手席用エアバッグ装置の設置構造においては、助手席用エアバッグ装置のインストルメントパネルへの固定部は、インストルメントパネルに対し取り外し可能に固定されていることが好ましい。

【0015】このように構成することにより、例えば、本発明の助手席用エアバッグ装置は、まず、コンテナの車体の前方側の辺部に設けられた係止部をインストルメントパネルの係合部に係合させ、次いで、この辺部と対向する辺部に設けられた固定部材をインストルメントパネルに着脱可能に固定することによって容易にインスト

ルメントパネルに取り付けることが可能となり、また、この助手席用エアバッグ装置のインストルメントパネルからの取り外しも、該固定部材のインストルメントパネルとの固定を解除し、車体前方側において係合部に非固定にて係合した係止部を抜き出すだけで容易に行うことが可能となる。この結果、インストルメントパネルにこの助手席用エアバッグ装置が取り付けられ、このインストルメントパネルが車体に設置された状態であっても、車両室内側等から、このインストルメントパネルを車体から取り外すことなく容易に助手席用エアバッグ装置のみをインストルメントパネルから取り外すことができるように構成することも可能となる。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。

【0017】第1図は、本発明の実施の形態に係る助手席用エアバッグ装置及びこの助手席用エアバッグ装置のインストルメントパネルへの設置構造を示す助手席用エアバッグ装置の縦断面図、第2図はこの助手席用エアバッグ装置のコンテナ部分の上面側からの斜視図、第3図はこの助手席用エアバッグ装置のコンテナ部分とインストルメントパネルとの係合関係を示す断面図である。

【0018】本実施の形態において助手席用エアバッグ装置1は、平面視形状が略長方形形状のコンテナ2と、このコンテナ2内に折り畳まれて配置されたエアバッグ3と、このエアバッグ3を膨張させるための略円柱形のインフレーション4と、コンテナ2の上面側の開口を覆うインストルメントパネル5と、これらのコンテナ2とインストルメントパネル5との間に介在し、且つコンテナ2とインストルメントパネル5とを連結するプレート6を備えている。

【0019】インストルメントパネル5の裏側にはテアライン5aが設けられている。このテアライン5aによって、インストルメントパネル5の一部の領域がコンテナ2の該開口を覆うリッドとして区画されている。このインストルメントパネル2は、その裏側において、該領域の車体のウィンドシールド（図示略）側（車体前方側）の辺縁部からコンテナ2の一側面に沿って下方に延出した壁状部7を備えている。この壁状部7には、後述のコンテナ2の係止部材15が係合するための開口よりなる係合部8が設けられている。

【0020】プレート6は、金属板等よりなり、インストルメントパネル5の裏側において該リッドとしての領域に沿って延在するように配置され、且つインストルメントパネル5と一体に設けられている。このプレート6のウィンドシールド側の縁部は、壁状部7の該領域側の側面に沿って屈曲されて下方に延在し、壁状部7の先端部においてこの壁状部7の該領域側とは反対側の側面に回り込んでいる。このプレート6の係合部8と重なる部分には、該係止部材15を係合部8に挿通するための挿

通孔9が設けられている。この挿通孔9は、係合部8の開口よりも大きい開口よりなり、係合部8を該領域側に露出させるとともに、係合部8に係止部材15に係合された際にはプレート6が係止部材15に接触しないものとなっている。

【0021】プレート6の壁状部7と対向する側の縁部からは、コンテナ2をインストルメントパネル5に連結するための連結片10が延出している。この連結片10は、後述するコンテナ2の固定部材16の挿通孔16cに挿通される雄ねじ部10aを有している。この連結片10は、コンテナ2がインストルメントパネル5に設置されるにあたってコンテナ2の係止部材15が係合部8に係合された後に、該挿通孔15cに雄ねじ部10aが挿通されるように固定部材16の後述の張出部16bが重ねられ、次いで雄ねじ部10aの先端側からナット10bが締め付けられることによって固定部材16を固定し、係合部8と共にコンテナ2とインストルメントパネル5とを連結するものとなっている。

【0022】また、このプレート6は、テアライン5aと同一箇所に開裂部6aを有しており、また、このプレート6の周縁部付近には、このプレート6を扉状に回動させるためのヒンジ部(図示略)が設けられている。これにより、エアバッグ3が膨張してこのプレート6を介してインストルメントパネル5を押圧した際には、このプレート6は、インストルメントパネル5の前述の領域と共に開裂し、且つインストルメントパネル5の該領域と一体に車両室内側へ押し開かれるものとなっている。

【0023】コンテナ2の底部には半円弧形のインフレーター収容部材11が配置されており、インフレーター4がこの収容部材11に係合し、上方から押え部材12がインフレーター4に被せられる。この押え部材12はコンテナ2の底面に重なるフランジ12aを有しており、このフランジ12aとコンテナ2の底面との間にエアバッグ3のガス導入口の縁部が挟持される。このフランジ12aはボルト13及びナット14によってコンテナ2に固定される。

【0024】このコンテナ2の長手方向に延在する一侧辺部には、前述の係合部8に係合する係止部材15が設けられている。この係止部材15は、該一侧辺部に沿ってコンテナ2に結合される結合部15aと、この結合部15aの上辺からコンテナ2の側方に向かって延出して該係合部8に挿通され、先端部分が壁状部7に沿って下方に屈曲されたフック部15bとを有している。この係止部材15は、結合部15aがスポット溶接等によって該一侧辺部と結合することによってコンテナ2に固着されており、本実施の形態において、コンテナ2には、該一侧辺部の上縁に沿って4個の係止部材15が設けられている。

【0025】また、コンテナ2の該一侧辺部と対向する他方の側辺部には、プレート6の連結片10に固定され

る固定部材16が設けられている。この固定部材16は、該対向する他方の側辺部に沿ってコンテナ2と結合する結合部16aと、この結合部16aの上辺から該連結片10に沿ってコンテナ2の側方へ延出した張出部16bとを有しており、この張出部16bには、連結片10の雄ねじ部10aが挿通される挿通孔16cが設けられている。この固定部材16は、係止部材15と同様に、結合部16aがスポット溶接等によって該他方の側辺部と結合することによってコンテナ2に固着されており、本実施の形態において、コンテナ2には、該他方の側辺部の上縁に沿って2個の固定部材16が設けられている。

【0026】このコンテナ2は、エアバッグ3が折り畳まれてこのコンテナ2内に収容された状態で、インストルメントパネル5の裏側から、このインストルメントパネル5の前述したリッドとしての領域に設置される。このコンテナ2をインストルメントパネル5に設置するにあたっては、まず、係止部材15のフック部15bを挿通孔9及び係合部8に挿通して係止部材15と係合部8とを係合させ、コンテナ2の一侧辺部を壁状部7に沿って配置する。次いで、このコンテナ2の壁状部7に沿って配置された側辺部と対向する側辺部に設けられた固定部材16の張出部16bと、プレート6の連結片10とを、挿通孔16cに雄ねじ部10aが挿通されるように重ね合わせ、挿通孔16cから張出部16bの下面側に突き出した雄ねじ部10aの先端側からナット10bを締め付けて固定部材16を連結片10に固定し、コンテナ2の設置を完了する。

【0027】このようにしてインストルメントパネル5の裏側に設置された助手席用エアバッグ装置1にあっては、車両衝突時にインフレーター4がガスを噴出し、エアバッグ3が膨張し、テアライン5aに沿ってインストルメントパネル5が開裂し、このインストルメントパネル5とプレート6とが一体に押し開かれてエアバッグ3が車両室内に大きく展開するようになる。

【0028】このように構成された助手席用エアバッグ装置1にあっては、インストルメントパネル5にコンテナ2を設置するにあたって、コンテナ2の車体のウィンドシールド側(車体前方側)に配置された側辺部は、係止部材15と係合部10とが係合するだけの簡便な構造でインストルメントパネル5に取り付けられているため、このコンテナ2のインストルメントパネル5からの取り外しは、コンテナ2の他の側辺部に設けられた固定部材16の連結片10への固定を解除し、係合部10から係止部材15を抜き出すことによって容易に行うことができる。この結果、例えば、インストルメントパネルが車体に取り付けられた状態のままで、メンテナンス時等において容易にコンテナの着脱が可能な助手席用エアバッグ装置を構成することができるようになる。

【0029】この実施の形態において、コンテナ2は、

係止部材15を有し、且つ壁状部7に沿って配置された側辺部と対向する側辺部に沿って2個の固定部材16が設けられているが、この固定部材16の個数及び配置はこれに限られるものではない。例えば、固定部材16は、該側辺部に対して1個或いは3個以上設けられてもよく、係止部材15を有した側辺部以外の残りの他の側辺部にも固定部材16を設けることができる。

【0030】また、この実施の形態において、コンテナ2の固定部材16の連結片10への固定方法は上記の構成に限られるものではない。例えば、図示はしないが、連結片10には雄ねじ部10aに代わって雌ねじ部が設けられ、固定部材16の張出部16bと連結片10とが重ねられた後に挿通孔16cを介してこの雌ねじ部にボルト等を螺合させることによって固定部材16が連結片に固定されるよう構成してもよく、第4～8図に示すような構成としてもよい。

【0031】以下に、第4～8図に示す固定部材16の連結片10への固定方法の他の構成例を説明する。第4、5図及び第7、8図は、それぞれ本実施の形態の助手席用エアバッグ装置の固定部材の連結片への固定方法の変形例を示す要部断面図であり、第6図は、(a)図が同じく本実施の形態の助手席用エアバッグ装置の固定部材の連結片への固定方法の変形例を示す要部断面図、(b)図が要部断面透視斜視図である。

【0032】第4図に示す固定部材16は、ピン20によって連結片10に固定されている。連結片10及び固定部材16は、それぞれこのピン20が挿通される挿通孔10c、16cを有している。

【0033】このピン20は、挿通孔10c、16cに挿通される一対の軸部20aを有し、この軸部20aは互いに接近する方向へ弾性的に撓むことができる。これらの軸部20aの先端側の側面には、先端側に向かってテーパ状に形成された爪部20bが設けられている。これら爪部20bが設けられた一対の軸部20bの先端側の大きさは各挿通孔の径よりも小さく、且つ爪部20bの後端側の部分の大きさは各挿通孔の径よりも大きく、軸部20aが各挿通孔に挿入された際には、これらの軸部20aは、爪部20bが各挿通孔に挿通可能となるように互いに接近する方向に撓みながら挿通孔内を移動するとともに、爪部20bが挿通孔から抜け出した後には弾性的に元の状態に復帰する。挿通孔から抜け出した爪部20bは、その後端側が挿通孔の周縁部に当接し、ピン20は挿通孔から容易には抜け出さないものとなる。

【0034】このピン20は、連結片10と固定部材16の張出部16bとが重ね合わされた後、張出部16bの下面側から挿通孔16c、10cに挿通される。連結片10と張出部16bとは、ピン20の大径部20cと、連結片10の上面側に抜け出した爪部20bの後端側との間に挟持され、これにより、固定部材16が連結片10に固定される。また、このピン20の大径部20

cを下側へ強く引張ることによってこのピン20を各挿通孔10c、16cから抜き取り、固定部材16の連結片10への固定を解除することもできる。

【0035】第5図に示す固定部材16は、張出部16bが連結片10とともに挟持部材21によって挟持されることによりこの連結片10に固定されている。

【0036】この挟持部材21は、重ね合わされた連結片10と固定部材16の張出部16bとの一方の外面から先端側を回り込んで他方の外面にかけて延在する略コ字断面形状を有し、これらの重ね合わされた連結片10と張出部16bの先端側から着脱可能にかぶせられている。この挟持部材21の、連結片10及び張出部16bの各外面に沿って延在した一対の片部の中央付近には、それぞれ対面する片部に向かって切り起こされた形状の爪部21aが設けられている。これらの爪部21aは弾性的に変形可能なものとなっている。またこれらの爪部21aは、連結片10及び張出部16bにそれぞれ設けられた係合孔10d、16dに係合しており、これにより、挟持部材21は、容易には連結片10及び張出部16bが挟持部材21の該各片部の間から抜け出さないものとなっている。もちろん、この爪部21aは弾性的に変形可能であるため、この挟持部材21を強く引張ることによって連結片10及び張出部16bから取り外すことができ、これにより固定部材16の連結片10への固定を解除することもできる。

【0037】第6図において、連結片10は、その中央付近に、連結片10の下面側に向かって膨出した膨出部10eを有している。この膨出部10eは、コンテナ2の側辺部に沿って延在した畝(うね)状のものであり、連結片10の中央付近が連結片10の下面側に略凹字形に屈曲されることにより形成されている。この膨出部10eの上面側は、この膨出部10eに沿って延在し、且つ細長い帯状のプレート22が係合した溝10fとなっている。固定部材16の張出部16bには、この膨出部10eが係合する開口よりなる係合部16eが設けられている。張出部16bはこれらの膨出部10eと係合部16eとが係合するように連結片10に重なっている。また、膨出部10eと溝10fは、この膨出部10eが係合部16eと係合した際に、溝10fの両端側が張出部16bの下側と連通し、この溝10fの底部に沿って配置されたプレート22の両端側が溝10fの両端部から張出部16bの下面に沿って延出するように構成されており、これにより膨出部10eが係合部16eから抜け出し不能に連結されている。

【0038】固定部材16は、張出部16bの係合部16eと連結片10の膨出部10eとが係合し、且つこの膨出部10eの上面側の溝10fの底部に係合したプレート22の両端側が溝10fの両端部から張出部16bの下面に沿って延出し、膨出部10eが係合部16eから抜け出すことを阻止されることによって連結片10に

固定されている。もちろん、固定部材16は、プレート22の一端側を張出部16bの下面に沿って引張り、溝10fからこのプレート22を抜き出して突出部10eと係合部16eとの連結を解除することによって連結片10から取り外すことができる。

【0039】第7図において、連結片10は、その先端側に弾性的に変形可能なフック部10gを有し、固定部材16は、張出部16bに、このフック部10gが係合する係合部16gを有している。このフック部10gは、連結片10と一体に設けられており、この実施の形態においては、連結片10の先端側がかぎ爪状に屈曲されることによって形成されたものである。このフック部10gの先端部は、このフック部10gと係合部16gとが係合した際に、固定部材16の張出部16bの下面に沿って係合部16gの縁部と重なるように構成されており、これにより、フック部10gが係合部16gから容易には抜け出さないものとなっている。

【0040】固定部材16は、このフック部10gを弾性的に変形させて係合部16gに係合させることにより連結片10に固定される。もちろん、係合時と同様にフック部10gを弾性変形させて係合部16gから抜き出すことにより、固定部材16の連結片10への固定を解除することもできる。

【0041】連結片10は、第8図に示すように、連結片10は、プレート6の縁部からコンテナ2の側辺部の延在方向に沿って下方に延出した形状のものであってもよい。この場合、固定部材16は、張出部16bがコンテナ2の側方へ延出した後、この連結片10に沿って下方に屈曲された形状とすることができる。

【0042】第8図の実施の形態において、これらの連結片10と張出部16bとは、それぞれ第4図に示したものと同様のピン20が挿通される挿通孔10c、16cが設けられており、固定部材16は、連結片10と張出部16bとが重ね合わされ、連結片10側から各挿通孔10c、16cにピン20が挿通されることにより連結片10に固定されている。もちろん、このように構成した場合でもこのピン20を強く引張って各挿通孔10c、16cから引き抜くことにより、固定部材16の連結片10への固定を解除することが可能である。

【0043】さらに、前述の実施の形態において、係止部材15の構成も上記のものに限られるのではなく、例えば、第9～11図に示すような構成としてもよい。第9～11図は、この係止部材15の変形例を示す要部断面図である。

【0044】第9図において、係止部材15は、コンテナ2の側辺部に沿ってコンテナ2と結合する結合部15aと、この結合部15aの上辺部からコンテナ2の側方に向かって延出して係合部8に挿通され、且つ先端側が壁状部7に沿って上方に屈曲されたフック部15bとを有している。

【0045】また、第10図において、係止部材15は、コンテナ2の側辺部に沿ってコンテナ2と結合する結合部15aと、この結合部15aの下辺部からコンテナ2の側方へ向かって延出し、且つ先端側が壁状部7に沿って下方に屈曲されたフック部15bとを有している。

【0046】第11図においては、係止部材15は、コンテナ2の側辺部に沿ってコンテナ2と結合する結合部15aと、この結合部15aの中央付近からコンテナ2の側方に向かって延出し、係合部8と係合する凸部15cとを有している。

【0047】上記のように構成された係止部材15を備えた場合であっても、このような係止部材15と係合部8とが係合することにより、コンテナ2が不正にインストルメントパネル5から脱落することはない。

【0048】

【発明の効果】以上詳述した通り、本発明の助手席用エアバッグ装置及びこの助手席用エアバッグ装置の設置構造によると、インストルメントパネルへのコンテナの設置及び取り外しが非常に容易であり、これにより、例えば、インストルメントパネルが車両に設置された状態にある場合であっても、メンテナンス時等において、このインストルメントパネルを車体から取り外すことなくコンテナ部分のインストルメントパネルへの着脱を行うことが可能な助手席用エアバッグ装置を構成することができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る助手席用エアバッグ装置及びこの助手席用エアバッグ装置の設置構造を示す断面図である。

【図2】第1図の助手席用エアバッグ装置のコンテナ部分の上面側からの斜視図である。

【図3】第1図の助手席用エアバッグ装置のコンテナ部分とインストルメントパネルとの係合関係を示す断面図である。

【図4】第1図の助手席用エアバッグ装置の固定部材の変形例を示す要部断面図である。

【図5】第1図の助手席用エアバッグ装置の固定部材の変形例を示す要部断面図である。

【図6】第1図の助手席用エアバッグ装置の固定部材の変形例を示す説明図である。

【図7】第1図の助手席用エアバッグ装置の固定部材の変形例を示す要部断面図である。

【図8】第1図の助手席用エアバッグ装置の固定部材の変形例を示す要部断面図である。

【図9】第1図の助手席用エアバッグ装置の係止部の変形例を示す要部断面図である。

【図10】第1図の助手席用エアバッグ装置の係止部の変形例を示す要部断面図である。

【図11】第1図の助手席用エアバッグ装置の係止部の

11

12

変形例を示す要部断面図である。

【図12】従来例に係る助手席用エアバッグ装置及びこの助手席用エアバッグ装置の設置構造を示す断面図である。

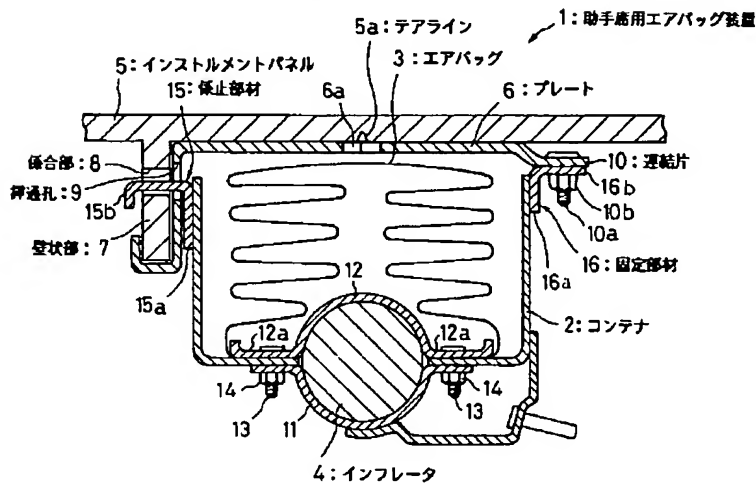
【符号の説明】

- 1 エアバッグ装置
2 コンテナ
3 エアバッグ

- 4 インフレーター
5 インストルメントパネル
6 プレート
7 壁状部
8 係合部
10 連結片
15 係止部材
16 固定部材

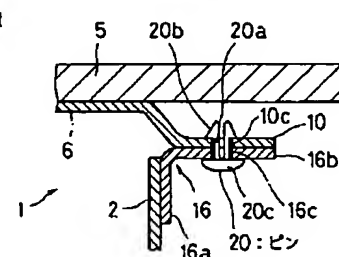
【図1】

第1図



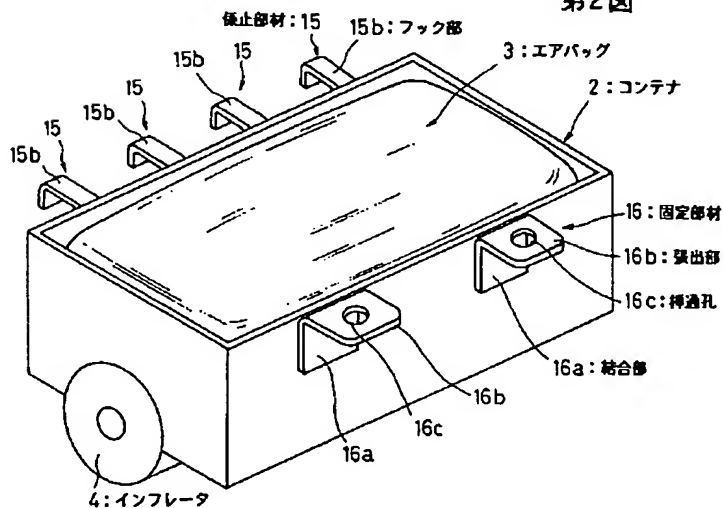
【図4】

第4図



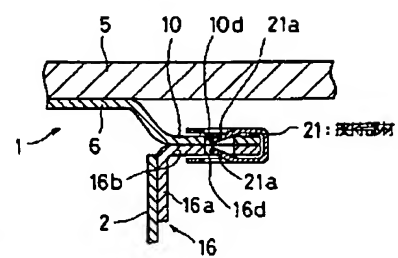
【図2】

第2図



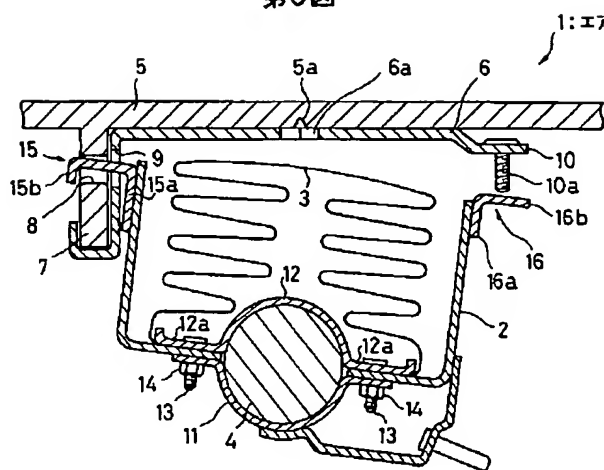
【図5】

第5図



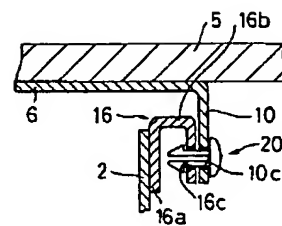
【図3】

第3図



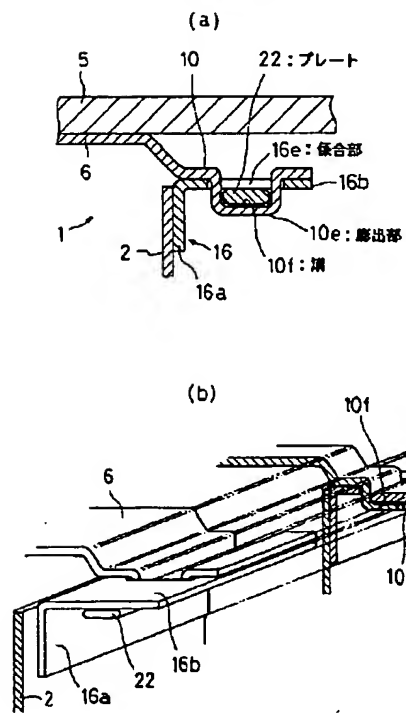
【図8】

第8図



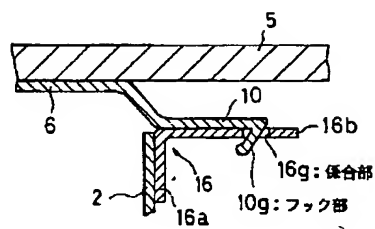
【図6】

第6図



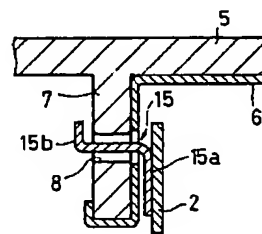
【図7】

第7図



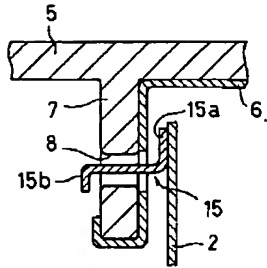
【図9】

第9図



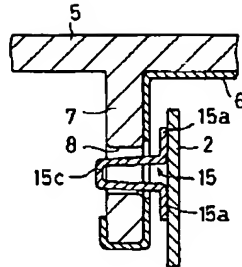
【図10】

第10図



【図11】

第11図



【図12】

第12図

